

日本初の「お金の診察室」誕生。
ところで、「お金」とは何ですか

編集部 竹内さんのプロフィールには、独立系FPとありますが。

竹内 FPのお仕事は依頼主のライフプラン設計をすることにあるのですが、ほとんどの場合、何かしらのビジネス的窓口になっていることが多いのです。例えば、家を建てる、投資をする……など。独立系と名乗るのは、日本でも300人くらいしかいません。夢や目標を叶えるためのライフプラン設計は、人それぞれ、状況や環境が違うわけですから、その人が何を求めているかによって、提案する内容もまったく違うものになります。私は常に中立な立場からアドバイスできる独立系として活動しています。相談内容は、事業でのお金の運用方法から、個人的な離婚や相続問題など様々ですが、心の洗濯・デトックスのお手伝いしていると言ってもいいかもしれません。洗濯をした後は、進むべき「選択」のためのプランを立てます。ところで、「お金とは」とお尋ねしたら、何を連想しますか？

編集部 うーん、「欲しい」(笑)とか、「ない……」。それから「楽しいもの」……。

竹内 言葉は裏腹で、意外にも「欲しい」という人は豊かだったり、「ない」と諦めている人は、本当は、ものすごく欲しい気持ちに占有されていたり……。『楽しい』というのは相談者の中でも聞いたことがなかったかな(笑)。けれども、「お金」の話って、家族団らんで食卓を囲んでいるときとか、家で持ち出すと、下品なこととして、忌み嫌う傾向があります。日本は特に。

編集部 そう言えば……。特に、食事の最中にはしないかも。そして、事態が深刻になればなるほど、家族にも秘密にしたい。

竹内 そう、そんな悩みを解消できたらと、「お金の診察室®」をこのほど開設しました。お金の悩みを安心して相談できる場所です。外国はちょっと違いますが、日本では、お金の相談は、相



竹内秀一 たけうちしゅういち

1965年長野県生まれ。9月より株式会社となった「株式会社あんしん設計」代表取締役。日本で約300人しかいない独立系FP。CPCC(米国CTI認定プロフェッショナルコーチ)。THE FUJIIYA GOHONJIN 専属マリッジコーチ。2015年9月より清泉女学院大学非常勤講師。「お金の診察室」を開設し、フィジカル・メンタル・ファイナンスの3つのバランスをより良く満たしていくライフデザイナー(人生をデザインする人)として、東京・長野を中心に相談を受けている。初のHP開設。3分でわかるFPをマンガで紹介するなど、FPに興味を持つ後輩たちを増やすための労力も惜しまない。

9月から大学での講義もはじまる

お金とは ○○です。

お金の診察室 Money-Clinicで お金の悩みを相談

FP竹内秀一の



FPたけうちー

夢や目標を叶えるためには、 人生設計が必要です。 それには……。

「お金とは」と聞かれたら、どのような受け答えをしますか。ファイナンシャルプランナー(以下FP)の竹内秀一さんは、長野市南千歳にオフィスを構え約20年。独立系のFPとして様々な方にライフプランのアドバイスをしてきました。9月から週1回、清泉女学院大学で「お金とは」についての講義を担当することに。竹内さんのオフィスをお尋ねし、お話を伺いました。

談ではなくてセールスになっています。中立公正な情報を伝え、しかも1回の診察で一



気に悩みを解消します。お金の不安をひとりで抱えることはありません。ネガティブなこと(考え)の切り口を変えてさしあげる。メンタル面もサポートします。

9月から20代の学生に向け講義 お金とはコミュニケーション

編集部 9月から毎週1コマ、清泉女学院大学で非常勤講師として講義を持つそうですね。

竹内 以前、ラジオ出演で「長野県民総ファイナンシャルプランナー計画」という私の独自のFP活動を話したことがあるんです。その時に偶然、心理コミュニケーション学部の先生が聴いていたんです。「長野に面白いFPがいる……。い



株式会社 あんしん設計

〒長野市南千歳町1-3-8

テラーロンドン3階

☎026-291-4341

<http://www.anshin-sekkei.co.jp>

つか大学で教えて欲しい」と、思ってくださいました。今回の抜擢に。心理学科の2年生に1コマ90分。お金の講義を毎週します。

編集部 2年生というと、だいたい20歳(前後)。※社会人入学者含)くらい。心理学の学生へお金のお話？

竹内 お金=メンタル。お金=コミュニケーションです。お金と向き合うことによって、見えてくるもの。心理学を学ぶ学生たちの、キャリアプランに組み込めたらと思います。お金は生きていくための大切なものです。けれどもあれば幸せか。なければ不幸せか。どのくらいあれば幸せか。家族の中で、夫婦で、自分だけあれば良いのか。誰も教えてくれないお金のことを社会に出る前に自分で考える機会を提供できたら最高です。それと、受講する学生には出来るだけ、FPの資格を取って欲しいのです。職業にするのも選択肢ですが、自分自身のために。自分のライフプランを、自分で立てられる。素晴らしいと思いませんか。

お金の相談には「お金」が必要 どこまでもサポートしてくれる

編集部 診察室。というくらいですから、診察料は1回おいくらですか？

竹内 はい。初診料は1万円(約120分)。往診の場合は別途です。

編集部 うふふ。お医者様ですね。

竹内 できれば、ご夫婦、カップル、親子(家族)、友人、社長と会計責任者。お金に関わる全員でお越しいただきたいです。どんなことでお互いが悩んでいるかもわかりますし、その当事者全員が解消しなければはじまりません。中立性、品質を守るため、無料相談、はしません。でも、無料相談って、実はちょっと怖いのですよ。無料なんですから……(笑)。

編集部 そうですね。タダよと言いますから。正々堂々とお金を払って、自分(たち)のライフプランを作成してもらおう。心構えに日本、芯が通りますね。

竹内 お金を投資したり、運用することよりも先に、人生をデザインすることからはじめましょう。人生の節目やイベントなどに応じてライフプランを見直すことや調整することが何よりも必要です。初診後は、メール・電話での相談、もちろん、必要に応じて、セカンド・オピニオンとして、他の専門家のご紹介も、完璧です。お金について迷ったら、頼ってください。診察室のドアはいつも開いていますから。